

AIは働き方を改修してくれるのか？

激務や常時接続のコミュニケーションによる負担が、私たちの能力を上回る一方で、AIが、まったく新しい働き方を創出しようとしています

64%

64%の人が仕事をするための時間とエネルギーの確保に苦慮していると回答

3x

2020年2月以降、Microsoft Teamsの会議と通話に費やす週あたりの時間は3倍に増加

70%

70%の人が自分の仕事量を減らすために、できるだけAIに任せたいと回答

2x

AIによる生産性向上に価値を見出すリーダーは、従業員数の削減に価値を見出すリーダーの2倍

主な知見: データは、AIを迅速かつ責任を持って導入するために、ビジネスリーダーが知っておかなければならない3つの重要な知見を示しています

- 1. イノベーションを脅かすデジタル負債:** 64%の人々が、仕事をするための時間とエネルギーの確保に苦慮していると答え、そうした人は、イノベーションや戦略的思考にも苦慮していると答える確率が3.5倍高くなっています
- 2. AIと従業員の新たな同盟:** 49%の人がAIが自分の仕事を取って代わることを心配していると回答した一方で、70%の人が自分の仕事量を減らすために、できるだけ多くの仕事をAIに任せたいと回答しています
- 3. すべての従業員にAI適性が必要:** 2023年3月時点で、LinkedInにおける米国の求人情報のうち、GPTに言及したものの割合は、すでに前年比79%増となっています

生産性の阻害要因トップ5



新しい働き方のための新しいスキル

